

令和5年度（2023年度）

試験区分	3年次編入学試験
学部学科	国際政策学部 共通
教科科目等	小論文
出題の意図	<p>国際政策学部は、地域社会の活力ある豊かな発展に貢献するとともに、平和で豊かな国際社会の形成のために行動できる人、すなわち「行動する国際人」の育成を目指している。入学者には、本学部のこうした理念・目的への理解と志向に加え、「行動する国際人」に必要な「学修のための基礎的能力」と「論理的・創造的な思考を表現できる能力」が求められる。</p> <p>国際政策学部では、2年次修了までに3つのコースそれぞれの基礎科目等の履修を通じた「コース基礎力」を身につけることを方針としている。3年次編入生はそうした基礎力に相当する能力を持っていることが必要となる。今回の小論文では、日本の安全保障を取り巻く状況と、沖縄が抱える基地負担という問題について、基本的な知識や関心、自分の意見を持ち、それらを論理的に説明する力を有しているかを問い、3年次編入後に国際政策学部生として学ぶための基礎的な力を備えているかを確認する。</p> <p>評価は、知識理解、論理性、躍動性の3つの観点から行う。知識理解に関しては、沖縄の基地問題という、戦後の日本社会が直面し、いまだに特定の地域の人々の負担として残り続けている課題について普段から関心を持って学び、自分なりの理解を得ているかを確認する。論理性については、国の安全保障と人々の日々の暮らしや地域の経済という、人間社会にとっての重要な課題について、自分の考えを具体的な理由を明示して論理的に示すことができるかを確認する。躍動性については、知識理解や論理性を表現するなかで、多様で発展的な発想で議論を展開する力を有するかを確認する。</p>